



御船小校長の勝手に「新語・流行語大賞」発表

年末の風物詩と言われる「現代用語の基礎知識選 2023ユーキャン新語・流行語大賞」の表彰式が12月1日（金）、都内で行われ、年間大賞には「アレ（A.R.E.）」が選ばれました。

この他、トップ10には、「新しい学校のリーダーズ」「OSO18」「蛙化現象」「生成AI」「地球沸騰化」「ペッパーミル・パフォーマンス」「観る将」「闇バイト」「4年振り声出し応援」がありました。

今年度、着任した校長は、これまでにいくつかの新語を発表し、流行語になることを願い言葉を繰り返し発してきました。

そこで、この場をお借りして、「御船小校長の勝手に『新語・流行語大賞』」を発表させていただきます。

【新語大賞】

シン・ミフネショー



管理職（校長、教頭、事務長）を除き、今年度着任した先生方が42%を占めます。新型コロナウイルス感染症も「第5類」に移行し、「Withコロナ」の活動を模索しつつ、「御船小でよかった」「御船小が大好き」と言える学校を目指して、「シン・ミフネショー」を合言葉に、先生方と取り組んでまいりました。

【流行語大賞】

「やさしい人」になる

入学式をはじめ、各学期の新学期・終業式等々で、校長が話しかけてきた言葉は、「『やさしい人』になる」ということでした。この言葉を受けてか、児童会の活動テーマも「やさしさあふれる御船っ子～元気よく楽しい学校生活にしよう～」と決まりました。

人権標語にも、「やさしい」という言葉がたくさん含まれていました。また、修学旅行や集団宿泊教室で見つけた「やさしい人」を紹介してきました。

この他、トップ3には、生活科や総合的な学習で御船町の人・自然・歴史・文化に出会う「御船小『ふるさと御船学』」や、名文暗記・音読カード・授業冒頭1分間速読・定例漢字大会などの「御船小『国語化計画』」が入りました。

以上、「御船小校長の勝手に決めた『新語・流行語大賞』」でした。保護者の皆様や地域の皆様は、もっと他の言葉を思い浮かべたかと思います。機会がありましたら、お聞かせください。